

群医発 1261 号
令和5年7月6日

会員各位

群馬県産婦人科医会 会長 永山 雅之
群馬県医師会 理事
群馬県産婦人科医会 副会長 佐藤 雄一
(公印省略)

ミフェプリストン及びミソプロストール製剤（販売名：メフィーゴパック）の製造販売承認に伴う「人工妊娠中絶実施報告票」の新様式について

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ミフェプリストン及びミソプロストール製剤（販売名：メフィーゴパック）の製造販売承認を踏まえ、母体保護法施行規則の一部が改正され、人工妊娠中絶を実施した医師が記載する人工妊娠中絶実施報告票に、「人工妊娠中絶薬の投与の有無」の欄を設け、手術による人工妊娠中絶の他、妊娠初期又は妊娠中期に人工妊娠中絶の用途で使用する薬剤使用の有無の記載を示さなければならなくなったこととは、令和5年6月24日に発出した群医発1141号「母体保護法施行規則の一部を改正する内閣府令の公布について」でお知らせし、その文書の中で当分の間は従来の様式の「備考欄」に「人工妊娠中絶薬の投与の有無」を記載することで、従来の様式の報告票の使用が可能なことをお伝えいたしました。

しかしながら、従来の報告票を使用する場合、すべてに「人工妊娠中絶薬の投与の有無」を記載しなければなりません。そのことは過大な負荷をかけることから、その内容の項目を追加した新様式を作成いたしました。

この新様式を「群馬産婦人科学会・群馬県産婦人科医会ホームページ (<https://med.wind.ne.jp/gunmasaog/>)」と「群馬県医師会ホームページ (<https://www.gunma.med.or.jp/>)」に掲載いたしますので、自由にダウンロードし、ご活用いただきますようお願い申し上げます。

敬具

事務担当：群馬県医師会 業務二課 遠間
電話：027-231-5311

人工妊娠中絶実施報告票

(年 月分)

(1) 手術を受けた者の番号		(2) 手術を受けた者の年齢	満 年
(3) 手術を受けた者の居住地	都道府県 郡 市区町村	(4) 手術を受けた者の妊娠週数	1 満7週以前 2 満8週～満11週 3 満12週～満15週 4 満16週～満19週 5 満20週～満21週
(5) 手術を実施した月日	月 日	(6) 該当条文	1 14条1項1号 2 14条1項2号
(7) 手術を受けた理由			
(8) 手術を受けた者の社会保険適用の有無	有 無	(9) 手術を受けた者の生活保護法による医療扶助適用の有無	有 無
(10) 人工妊娠中絶薬の投与の有無	有 無		
備考			

日本産業規格A列5番

記載上の注意

- 手術による人工妊娠中絶の他、薬剤の投与による人工妊娠中絶についても本票により報告するものとする。
- 「手術を受けた者の番号」欄については、各月ごとに手術を受けた者について実施の順に付した番号を記入すること。
- 「手術を受けた者の居住地」欄には、都道府県名及び郡市区町村名まで記入し、該当する文字を○で囲むこと。
- 「手術を受けた者の妊娠週数」欄は、該当する数字を○で囲むこと。
- 「該当条文」欄は、該当する数字を○で囲むこと。
- 「手術を受けた理由」欄には、手術を受ける理由となった事実、例えば、結核のため妊娠の継続により健康を害する、暴行により妊娠等を記入すること。
- 「手術を受けた者の社会保険適用の有無」、「手術を受けた者の生活保護法による医療扶助適用の有無」欄及び「人工妊娠中絶薬の投与の有無」欄は、該当する文字を○で囲むこと。なお、「人工妊娠中絶薬の投与の有無」欄における人工妊娠中絶薬は、妊娠初期又は妊娠中期に、人工妊娠中絶の用途で使用する薬剤を指すものであること。

キリトリ

人工妊娠中絶実施報告票

(年 月分)

(1) 手術を受けた者の番号		(2) 手術を受けた者の年齢	満 年
(3) 手術を受けた者の居住地	都道府県 郡 市区町村	(4) 手術を受けた者の妊娠週数	1 満7週以前 2 満8週～満11週 3 満12週～満15週 4 満16週～満19週 5 満20週～満21週
(5) 手術を実施した月日	月 日	(6) 該当条文	1 14条1項1号 2 14条1項2号
(7) 手術を受けた理由			
(8) 手術を受けた者の社会保険適用の有無	有 無	(9) 手術を受けた者の生活保護法による医療扶助適用の有無	有 無
(10) 人工妊娠中絶薬の投与の有無	有 無		
備考			

日本産業規格A列5番

記載上の注意

- 手術による人工妊娠中絶の他、薬剤の投与による人工妊娠中絶についても本票により報告するものとする。
- 「手術を受けた者の番号」欄については、各月ごとに手術を受けた者について実施の順に付した番号を記入すること。
- 「手術を受けた者の居住地」欄には、都道府県名及び郡市区町村名まで記入し、該当する文字を○で囲むこと。
- 「手術を受けた者の妊娠週数」欄は、該当する数字を○で囲むこと。
- 「該当条文」欄は、該当する数字を○で囲むこと。
- 「手術を受けた理由」欄には、手術を受ける理由となった事実、例えば、結核のため妊娠の継続により健康を害する、暴行により妊娠等を記入すること。
- 「手術を受けた者の社会保険適用の有無」、「手術を受けた者の生活保護法による医療扶助適用の有無」欄及び「人工妊娠中絶薬の投与の有無」欄は、該当する文字を○で囲むこと。なお、「人工妊娠中絶薬の投与の有無」欄における人工妊娠中絶薬は、妊娠初期又は妊娠中期に、人工妊娠中絶の用途で使用する薬剤を指すものであること。